様式1

令和5年度 (運動・文化) 部活動の方針・課外活動の方針1

「スケートクラブ」

目標

軽井沢の自然環境を生かしたスケート運動や八風山強歩登山に向けた運動を通して、心身の鍛練を図ると共に、地域に根ざした生涯スポーツの振興に寄与する。

- (1) 規律を守り、厳しいトレーニングと寒さに打ち克つ逞しい心身を培う。
- (2) 共に喜び、共に苦労する連帯意識の習得をはかる。
- (3) 関わる人への感謝の心を育てる。
- (4) スケート技術の向上を図り、軽井沢の伝統スポーツを大切にできる人材を育てる。

本校の運営方針

〇活動時間 (平日・休日)

・10月上旬~(火)(金)16:30~18:10前半練習

18:15~19:00後半練習

〇朝の活動方針

・朝活動は行わない。

〇地域の社会体育活動との連携又は区別等

- ・前半練習は、町内3校合同練習とし、当番職員が児童の管理を行う。技術指導は、SC軽井沢 クラブのコーチによる。
- ・後半練習への参加はそれぞれの保護者が判断する。児童の管理・技術指導は、保護者及びSC 軽井沢クラブのコーチによる。

〇長期休業中の活動方針(原則、平日に行う)

・職員管理のもとでの長期休業中の練習は行わない。

〇大会等への参加方針(参加大会数の目安等)

- ・大会への参加については、保護者会と相談の上決定する。
- ・学校側が作成した申込書を集計したものを、保護者が申し込む。
- ・参加料は、保護者会で集める。
- ・大会参加(喇… 軽井沢町民大会 軽井沢競技大会 東日本ジュニア *その他の大会は保護者会が引率する。

〇スポーツ活動運営委員会等、課外活動や部活動運営に係る協議の場の設営

・年度当初の「3校合同連絡会」で、町内3校監督、SC軽井沢クラブ、軽井沢スケート連盟、 3校の保護者会長が参加の下、練習開始時期や内容について決定する。

指導体制の工夫

- ・スケートクラブと金管クラブの2つの課外クラブを全職員が関わって運営し、一人への負担を少なくする。
- ・放課後練習は1名が児童の管理に当たり、当番制とする。
- ・10月からのスケート練習は、3校合同で行い、SC軽井沢クラブのコーチに技術指導をしていただき、学校職員は主に児童の管理に当たる。学校職員の児童管理は、18:10までとし、それ以降の児童管理・技術指導は、保護者とSC軽井沢クラブのコーチが行う。
- ・町内3校が連携し、合同練習やさよなら滑走を当番制で実施する。

その他

様式 1

令和5年度 (運動・文化) 部活動の方針・課外活動の方針2

「金管クラブ」

目標

音楽に親しみ、みんなで一つの音楽をつくりあげる楽しさを味わい、音楽を愛好できる児童を育てる。

- (1) 楽器の練習を積み重ねることで音符を読めるようにし、息づかいの基礎を身につける。
- (2) 友だちと合奏する楽しさを味わう。
- (3) 助け合って練習することで思いやりの気持ちを育てる。
- (4) 毎日の練習を続けることで一つのことをやり遂げる力を身につける。
- (5)いろいろな場面で演奏することにより大勢の前でも堂々と自分を表現できる力を身につける。

本校の運営方針

○休養日の設定

休日の練習は行わない。

○活動時間

登校日の朝の練習を中心に行う。 7:45~8:15

入学式、集団登校日、長期休業明け、卒業式の朝は行わない。演奏会が休日にある時は月曜の 朝は休養日とする。

○演奏会、講習会参加

令和5年10月28日(土) 佐久管楽器交歓演奏会(小諸文化センター)

令和5年11月12日(土) 軽井沢吹奏楽祭

令和6年1月28日(日) アンサンブル交歓会(小諸文化センター)

指導体制の工夫

- ・スケートクラブと金管クラブの2つの課外クラブを全職員が関わって運営し、1人への負担 を少なくする。
- ・外部指導者によるレッスンを行い、音楽活動の充実を図る。
- ・休日の練習は基本行わない。職員の負担軽減と子供たちの音楽活動の充実の両立を図る。

その他

新型コロナウイルス感染症の 5 類移行の機会を受け、従来の練習方法へ戻していく(合奏練習を 多くする)。